



SDGs for School
produced by Think the Earth



7

今回取材したのは、以前私が6月号で活動紹介をした「思い出のランドセルギフト」を行っている



第二弾」として8月に行った活動を報告します。先月と同様に、SDGsのアクションを起している方にオンライン取材をしました。

こんにちは、中学一年ののはです。秋になりましてね。さ



（甲斐さん）.. 大きく二つあります。一つ目は、戦後の経験を活かして日本で誕生したJOICFPの成り立ちや活動に共感し、自分

Q: 甲斐さんがJOICFPに入るうと思っただきかけは何ですか？

（甲斐さん）.. 国連機関や国際機関、各国のNGOなどと連携しながら協議と検討を重ね、JOICFPにできることをできる場所で行っています。

Q: ランドセルギフトのような活動内容や対象国は、どのように決まるのですか？

も海外での活動に協力できたらいいなと思っただことです。二つ目は、JOICFPが特にアフリカや東地域などで弱い立場に置かれている女性の命を救う手助けをしてい



Q: J.O.C.F.P.の活動には、ランドセルギフトの他にどのような活動がありますか？

(甲斐さん) .. アフガニスタンでクリニックを開き運営しています。

アフガニスタンのほとんどの地域では、成人女性は男性に肌を見せはけないという決まりがあります。そのため、女性は病院に行きたくても、ほとんどの医者さんが男性であるために治療を受けに行くことができません。病院に行けず命を落とすという女性もいるのです。そこでJ.O.C.F.P.は現地の医療連合センターと協力して、女性の医療スタッフを充実させたクリニックを作りました。このような活動を他の国でもして

いて、弱い立場にいる女性や子どもを一人でも多く救うことを目指しています。

Q: 現地の人と関わる上で大切にしていることはなんですか？

(甲斐さん) .. 現地の人達の考えや文化を尊重しながら、その人達の希望に沿った活動をバックアップしていくという姿勢を心がけています。

Q: 甲斐さんが、中高生くらいの読者のみなさんにおすすめしたい本はありますか？

(甲斐さん) .. 二冊あります。一つは「13歳シリーズ」です。

13歳くらいの目線で描かれていて、紛争地域の村などで取材して書かれた本です。自分達くらいの世代の人達がどんな体験や思いをしているかが分かります。

もう一つは「カカ・ムラド」です。2019年に銃撃によって亡くなってしまった、アフガニスタンで灌漑農業を進めた医師の中村哲先生のお話です。小学生向けに易しく書かれています。よかったです読んでみてください。

Q: 最後に読者のみなさんに一言お願いします。

(甲斐さん) .. 例え周りの人と違うことだったとしても、自分がやってみようことならなんでも挑戦





● **素材に参加した学生の感想**

・甲斐さんが海外で実際に活動しているからこそ分かる国際支援の現状を聞くことができ、興味深かったです。特に、支援をしても文化の違いから受け入れられない

※取材の様子
(限定公開11月末日まで)



● **まとめ**
夏休み特別企画はいかがでしたか？ 取材を受けてくれたあずかさんと、甲斐さんは、より良い未来を目指し、答えのない課題に向けて、現在進行形で活動している方々でしたね。ゴミを集めて作品にしたり、旅をしながらたくさんの人に出会っていたり、推薦図書を紹介してくれたり、「行動するためのヒントがいっぱいあったのではないでしょう。何かを真似することから始めてみませんか？そして、未来に向けての行動について、少し考え始めてみませんか？

（リョウ・大学1年）

ことがあるとい話を聞き、異文化理解の難しさを感じました。
(みなみ・高校1年)

（リョウ・大学1年）

協力：一般社団法人シーク・ジ・アース / 新渡戸文化高等学校教諭 山藤旅間

